三重県経営者協会

みえ経協

APRIL 2022
4
vol.68

MIE EMPLOYERS' ASSOCIATION

三重県と株式会社ポケモンが連携した取組「三重県×ミジュマル」の一環として、県内７市にみえ応援ポケモンのミジュマルとさまざまなポケモンがデザインされたマンホール蓋『ポケふた』が寄贈されました。（提供：三重県）

目次・主な内容

三重経協 News 2

新会員の紹介・三重県 News 7

三重労働局 News 6

業務日誌 8

協会事業活動報告

第67回三重労使会議

2月15日（火）三重県勤労者福祉会館6階「講堂」にて、第67回三重労使会議を経営者側14名、労働者側13名の出席者で開催しました。

経協原会長、連合三重番条会長両会長より挨拶がありました。

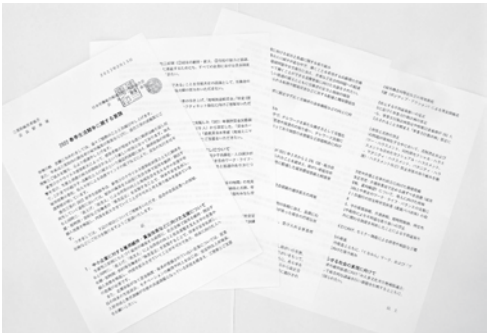
（原会長挨拶）

新型コロナウイルス感染症第6波は非常に厳しい状況となっており、感染拡大防止の為、本日の会議も前回9月同様に、会場での出席者は最小限としまして、その他の方々にはWEBでご参加いただきました。

挨拶する原会長

原会長に要請書を提出する連合三重番条会長

さて、県内の経済状況に目を向けますと1月25日に津財務事務所が発表した県内経済情勢総括判断は、昨年10月判断から上方修正されました。更に2月1日に三重労働局が発表した令和3年12月の県内有効求人倍率は3カ月ぶりに前月から上昇するなど、状況の好転を報じるものでした。しかしながら、これらには第6波の感染拡大の影響は反映しておらず、1月に入ってからの爆発的な感染拡大は、これまでの回復の兆しを一変させてしまう懸念を強く抱かせる大変厳しいものとなっています。春季労使交渉について当協会の考え方は、コロナ禍で悪化した経済状況の改善や、現政権が掲げる「成長と分配の好循環」などの「社会的な期待」が高まり、企業には積極的な賃金引き上げが求められています。しかし、K字回復といわれるように業種や企業により業績がばらつく現状では、各々の企業において、労使双方が自社の状況を共有し、「事業継続と雇用維持」を最優先にしながら、実情にかなった対応を見いだすことが重要だと考えています。「賃金決定の大原則」に則って「賃金」については月例賃金だけでなく、諸手当や賞与、一時金などの様々な選択肢も考慮し、また、「総合的な処遇改善」については、「働きがい」や「働きやすさ」に繋がる職場環境の見直しを含めた施策などに関して真摯に協議を深めることを期待しているとの挨拶でありました。



要請書

その後、連合三重側より経営者協会に対し「2022春季生活闘争に関する要請書」が提出されました。

■2022年春季労使交渉について

・経営側の基本的な考え方

・連合三重の取組み

■労使協働事業関係

・三重労使雇用支援機構活動報告

①三重労使雇用支援機構役員変更について

②高齢者及び事業所向けセミナー業務について

③働きやすい職場づくり応援セミナーについて

④だいだい食堂2周年記念イベント

～「来て！見て！知って！働く障がい者フェア！！」

⑤みえの地産地消・食育推進モデル事業について

■労使セミナー

「不妊治療と仕事の両立支援に向けた三重県の取組みについて」

三重県子ども・福祉部　子育て支援課　課長　西﨑　水泉　氏

第67回三重労使会議風景

講演する西﨑氏

第61回ビデオライブラリー監事会・運営委員会

監査風景

運営委員会風景

1月24日（月）はな房において、第61回ビデオライブラリーの監査及び運営委員会（参加者5名）を2年振りに開催しました。

運営委員会の前に監事2名により（マクセルクレハ㈱様、三交興業㈱様）監事会が行われました。続いて運営委員会が開催され、早川委員長（三重交通㈱人事部長）の挨拶の後、事務局より令和2年度事業概要並びに収支決算の報告と令和3年度の事業計画及び収支予算の説明がありました。

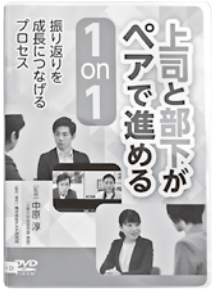
審議の結果、原案通り承認されました。

次に新規購入のDVD選定について説明が行われ、審議の結果原案通り承認されました。DVDの購入の件につきまして右記の通りとさせていただきます。

尚、近年ビデオテープの貸し出しがほぼ無く、4月以降順次ビデオライブラリー特別委員会社様に希望のビデオテープを無料で進呈させて頂く事になりました。以後、三重県経営者協会の会員様にも同様に進呈することになりました。（先着順）

【新規購入のDVD】

上司と部下がペアで進める1on1 振り返りを成長につなげるプロセス



上司のハラスメント3 グレーゾーンを生まないために

他のビデオテープ・DVD等もございますので、詳細は事務局若しくは当協会のHPをご参照下さい。

※委員長　三重交通株式会社 人事部長 中林 広己 氏は人事異動により、今回より後任の早川 正素 氏にご就任いただきました。

※諸事情により半年遅れの開催となっております。

内定者向け講習会

内定者向け講習会風景

2月7日（月）アスト津　4階「会議室1」において、今春入社予定の学生を対象に「内定者向け講習会」を6社10名の参加者で開催しました。

近年、新卒採用が企業にとって厳しさを増す中、一方で、学生にとっては売り手市場で内定率が高水準で推移しておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により非常に厳しい雇用情勢となっておりましたが、ようやく持ち直しの動きとなっております。このような中、企業にとっては内定辞退を防ぐ為、内定から入社までの期間フォローしていく必要があります。一般的には、このような講習会は開催されておりませんが、この講習会では入社まで残り約2ヶ月、この時期に「働く」ということを理解していただき、学生が入社までの不安を取り除き、残りの期間で身に付けて欲しい事等、グループワークを通してマスターする内容です。

始めのグループワークでは皆さん緊張されていましたが、後半は活発に意見交換が行われました。また、今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者も今回のようなリアルでの集合研修は初めての方もおり、学校もリモートでの授業が多く、久し振りにリアルでのグループ討議が出来たことに満足されていました。

（内容）・社会人としての心構え
・社会人基礎力（主体性、シンキング力、協働の姿勢）
・入社前後の悩みへの対処法等をグループワークを通して学ぶ

講師：名古屋経済大学経済学部教授
キャリアセンター長　大黒　光一　氏
（元リクルート就職ジャーナル編集長）

講演する大黒講師

中部経協三県連携事業

階層別研修 第3回「管理者実践強化講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～

講義風景

3月3日(木) アスト津 4階「会議室1」において、階層別研修第3回「管理者実践強化講座」を10名で開催しました。

講師には前回同様㈱ヒューマンブレインアソシエイツ　取締役上席シニアコンサルタントの稲垣正己 氏を講師にお迎えし、第1回目、第2回目の振り返り（特に自分のタイプ、パラダイムチェンジ、コミュニケーションスタイル、OJT 等）を行いました。その後、職場で OJT を進めていく中で、人との関わり合い、コミュニケーションが上手くいっていないこと（問題点）をパラダイムチェンジシートに記入し、各グループ内で共有しました。次にパラダイムチェンジシートを展開してグループ内で深掘を行いました。また、対面影響力の強化の決め手が2種類の能力であり、一つは「アビリティ」（IQ）、そしてもう一つが「コンピテンス」（EQ）でありますが、今回は EQ 診断（感情能力）を行いました。診断後 EQ グラフに落とし込みの解説をし、最後にリーダーシップ実習（集団決定「コンセンサス」（全員が納得する話し合い））の演習を行いました。個人で考えるより、グループで他の人の意見・考えを聴き話し合うことで、生産性が向上することとなりました。今回が最終回となり、約半年間の研修ではありましたが、参加者の管理者としてのパラダイムチェンジが図られました。

講義する稲垣講師

■主なプログラム

- ・第１回目、第２回目の振り返り
- ・パラダイムチェンジシート
- ・上手くいっていない問題点
- ・対面影響力の強化
- ・EQ診断
- ・集団決定「コンセンサス」（仕事に対する動機）

新入社員フォロー研修第3回「2年目社員へのステップアップ」

研修風景

3月11日（金）アスト津　5階ギャラリー1において、新入社員フォロー研修第3回「2年目社員へのステップアップ」を参加者23名で開催しました。

講師には㈱ソ・ラボ　代表取締役の山田将史 氏をお迎えし、上司・先輩からのコメントについてフィードバックし、自己啓発計画書に2年目までに身に付けること、習得すべき業務スキルをシートに記入していただきました。次にペアコミュニケーションとして、2人ずつ向かい合い傾聴トレーニングを行い、発信力について講義が行われました。

後半は、グループに分かれてゲームを2つ行いました。1つ目は、ある大学で毎年、春の文化祭で行われるもので、大学から1つのクラブ・同好会に100万円が支給されるというものです。10のクラブ・同好会の代表が集まって、各代表が予算を獲得するというゲームです。発信力・傾聴力・柔軟性を鍛えるゲームであります。2つ目のゲームは各グループが不動産会社となり、社長等役割を決めて、他のグループと交渉・駆け引きなど知恵を戦わせていく体験ゲームです。ゲームの大きな目的は、①目的を共有する②相手の「心情」を具体的に伝える③相手の話を聴き、理解しようとする姿勢④部分最適でなく、全体最適で考える、この4つとなっております。皆さん入社から約11ヶ月が経過し、初回の表情とは違い、社会人らしさが出ておりました。また、前回とグループ分けを変えて行っているので、新しいメンバーでお互い真剣に自分の意見を発信していました。

新入社員が入社するまで残り3週間、そろそろ1年生の気分から脱して2年生となる意識付を行いました。更に新入社員から憧れる先輩となって良き相談相手となり、先輩・上司から「人在」からステップアップし、役に立つ「人材」へ転換する内容の研修でありました。

講義する山田講師

■　研修の目的

①発信力　②傾聴力　③状況把握力　④規律性

ルール　・礼儀礼節を守る　・時間厳守　・反応する（聴く、姿勢）

今日を素晴らしい1日にするために

・積極的に！「今・ここ・自分」→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること！

・メモをする　・シェア（共有）する

高年齢者雇用に関する事業所向けセミナー

高年齢者雇用に関する事業所向けセミナーを下記の内容で開催致しました。

※令和3年度生涯現役促進地域連携事業として、三重県生涯現役促進地域連携協議会より、三重労使雇用支援機構が高齢者及び事業所向けセミナーの開催を受託し、セミナーを運営しております。

講演する杉山講師

■開催内容

No.	日時及び開催場所	プログラム
1	1月19日（水） 13：30 ～ 15：30 三重県松阪庁舎6階 「大会議室」 参加人数：11名	主催者挨拶：三重県生涯現役促進地域連携協議会 事業推進者　三井　清輝　氏 講演：「高年齢者雇用における事業所のメリットとは？」 ～人脈と経験を最大限に活用するために～ 講師：株式会社Ｏ-ＧＯＥ 代表取締役　杉山　豊　氏
2	2月3日（木） 13：30 ～ 15：30 三重県吉田山会館3階 （WEBセミナー） 参加人数：19名	主催者挨拶：三重県生涯現役促進地域連携協議会 事業推進者　三井　清輝　氏 講演：「高年齢者雇用における事業所のメリットとは？」 ～人脈と経験を最大限に活用するために～ 講師：株式会社Ｏ-ＧＯＥ 代表取締役　杉山　豊　氏

三重県松阪庁舎会場風景

WEBセミナー風景

令和4年4月1日より女性活躍推進法の一般事業主行動計画策定義務企業が拡大されました!

【常時雇用する労働者が１０１人以上３００人以下の事業主】

令和４年４月１日から、一般事業主行動計画（以下「行動計画」という。）の策定・届出や情報公表の義務が常時雇用する労働者数 101 人以上の事業主まで拡大されました。

令和４年４月１日より（１）～（４）の取組が**義務**となります。

（１）自社の女性の活躍に関する状況把握、課題分析

（２）１つ以上の数値目標を定めた行動計画の策定、社内周知、公表

（３）行動計画を策定した旨の都道府県労働局への届出

（４）女性の活躍に関する１項目以上の情報公表

プラチナえるぼし

えるぼし

行動計画とは、自社の女性の活躍に関する状況把握（採用、勤続年数、労働時間、管理職など）を行い、社内における女性の活躍に向けた課題を明らかにし、数値目標や取組内容を定めるものです。行動計画を策定した事業主は、「一般事業主行動計画策定・変更届」（様式第１号）を三重労働局雇用環境・均等室まで届出てください（電子申請、郵送または持参可）。

えるぼし認定について

行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況が特に優良である等の一定の要件を満たした場合に「えるぼし」認定を受けることができます。認定を受けると、認定マークが使用でき、女性が活躍している事業主として PR できます！

詳しくは

女性活躍推進法　厚生労働省　検　索

▷▷ 厚生労働省ホームページ「女性活躍推進法特集ページ」アクセス!
▷▷「女性の活躍推進企業データベース」では、自社の行動計画の公表と情報の公表ができるほか、他社の行動計画を閲覧できます。データベースへは、「女性の活躍推進・両立支援総合サイト」（https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/）からアクセスできます。

令和４年４月１日から　くるみん認定、プラチナくるみん認定の認定基準等が改正されました！新しい認定制度もスタート！

ポイント１　くるみんの認定基準とマークが改正されます。

①男性の育児休業等の取得に関する基準が改正されます。
　男性の育児休業等取得率　　現行：　７%以上 → 令和４年４月1日以降：１０%以上
　男性の育児休業等・育児目的休暇取得率　現行：１５%以上 → 令和４年４月1日以降：２０%以上
②認定基準に、男女の育児休業等取得率等を厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」 で公表すること、が新たに加わります。

新しいくるみんマーク

ポイント２　プラチナくるみんの特例認定基準が改正されます。

①男性の育児休業等の取得に関する基準が改正されます。
　男性の育児休業等取得率　　現行：１３%以上 → 令和４年４月1日以降：３０%以上
　男性の育児休業等・育児目的休暇取得率　現行：３０%以上 → 令和４年４月1日以降：５０%以上
②女性の継続就業に関する基準が改正されます。
　出産した女性労働者及び出産予定だったが退職した女性労働者のうち、子の１歳時点在職者割合
　　現行：５５% → 令和４年４月1日以降：７０%

トライくるみんマーク

ポイント３　新たな認定制度「トライくるみん」が創設されます。

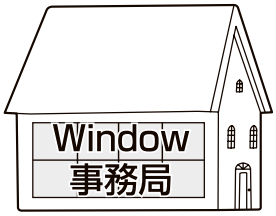
認定基準は、現行のくるみんと同じです。
※トライくるみん認定を受けていれば、くるみん認定を受けていなくても直接プラチナくるみん認定を申請できます。

ポイント４　新たに不妊治療と仕事との両立に関する認定制度が創設されます。

くるみん、プラチナくるみん、トライくるみんの一類型として、不妊治療と仕事との両立に取り組む企業を認定する制度が新設されます。（「プラス認定」）

プラスマーク
（例：くるみんマーク）

お問い合わせ先　三重労働局　雇用環境・均等室　受付時間9時00分～17時00分（土・日・祝日・年末年始を除く）
電話：059－226－2318　https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/home.html



新会員の紹介

八昇製菓株式会社

事業内容　洋菓子製造業（カステラ・どら焼き・パウンドケーキ等）
代 表 者　代表取締役　道林　年秋
所 在 地　松阪市大口町字新地１５１０－４５
電　　話　０５９８－５１－１２６０
Ｆ Ａ Ｘ　０５９８－５１－１９３９
ホームページ　http://8-shou.co.jp/

一般社団法人あさあけ

事業内容　経営コンサルタント業
代 表 者　代表理事　野浪　隆
所 在 地　津市広明町３２８　津ビル２F
電　　話　０５９－２５３－１８６５
Ｆ Ａ Ｘ　０５９－２５３－１８６６
ホームページ　https://asaake.jp/

みえ応援ポケモン「ミジュマル」が大活躍！

令和３年12月、三重県と株式会社ポケモンは「ポケモンローカルActs」の取組を活用し、包括連携協定を締結しました。三重が「ミジュウ」とも読め、ミジュマルの名前と親和性がある他、ミジュマルはおなかに貝のような見た目の「ホタチ」を持つ特徴から、海の幸が豊富な三重県にピッタリなポケモンとして、「みえ応援ポケモン」に就任しました。

ミジュマルトレイン走行中！

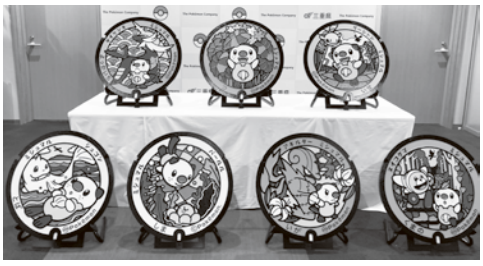
令和４年1月17日から当面の間、近鉄 伊勢中川駅～賢島駅との間を中心に、みえ応援ポケモンの「ミジュマル」が電車の外装と内装にラッピングされた「ミジュマルトレイン」が運行しています。

また、「ミジュマルトレイン」の運行に合わせて、近鉄鳥羽駅においても、各所でミジュマルの装飾が施されています。

東海地方初！三重県に『ポケふた』が登場！

令和４年３月10日に株式会社ポケモンから四日市市・津市・伊勢市・鳥羽市・志摩市・伊賀市・熊野市の７市にポケモンがデザインされたマンホール蓋『ポケふた』が寄贈されました。

なお、設置された『ポケふた』は順次、『Pokémon GO』の「ポケストップ」になる予定です。



©2022 Pokémon. ©1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

～失業なき労働移動の実現をめざす 再就職・出向の専門機関～

雇用調整等のニーズのある 1 企業様（送出）と

雇い入れご希望の 2 企業様（受入）との間で

人材マッチングサービスを無料で提供しています。

公益財団法人 産業雇用安定センター 三重事務所

TEL 059-225-5449 FAX 059-221-6197

www.sangyokoyo.or.jp/ 産業雇用 検索

業務日誌（2022・1～3）

事 業 名	と き	と こ ろ
令和３年度生涯現役促進地域連携事業 高年齢者雇用に関する事業所向けセミナー	1/19㈬	三重県松阪庁舎
	2/ 3㈭	WEB 配信
第 61 回 MVL 監事会・運営委員会	1/24㈪	はな房
（一社）日本経済団体連合会「地方業種別団体情報連絡会」（ZOOM 会議）	1/28㈭	三重経協事務局
内定者向け講習会	2/ 7㈪	アスト津
第 67 回三重労使会議	2/15㈫	三重県勤労者福祉会館及び WEB 配信
中部経協三県連携事業 階層別研修 第３回「管理者実践強化講座」 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～	3/ 3㈭	アスト津
中部経協三県連携事業 新入社員フォロー研修 第３回「2 年目社員へのステップアップ」	3/11㈮	アスト津

三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F

TEL 059-228-3557 FAX 059-228-3710

ホームページ http://miekeikyo.jp

E-mail info@miekeikyo.jp

2022年４月25日 発 行

発行人／三重県経営者協会